



# THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO KITA

c/o TOKYO YMCA 2-2-20 TOYO KOTO-KU TOKYO 135-0016, JAPAN Tel.03-3615-5562  
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS. CHARTERED 1980



2018年 8月 No.452

Moon Sang Bong (韓国) 国際会長主題:

「Yes, We Can Change!」[私たちは変えられる]

田中博之(東京多摩みなみ) アジア太平洋地域会長主題:

「Action!」[アクション!]

宮内友弥(東京武蔵野多摩) 東日本区理事主題: 「No challenge, No fruit」[為せば、成る]

衣笠輝夫(埼玉クラブ) 関東東部部長主題: 「良いものを見つけ・つなげて、よくなる」

磯部成文 東京北クラブ会長主題: 「明るく・楽しく・朗らかに」

会長: 磯部成文 副会長: 金秀男 書記: 村杉一榮 書記: 松島良樹 会計: 磯部幸子 担当主事: 小松康広

### 今月の聖句

詩編 145章 9節

『主はすべてのものに恵みを与え、造られたすべてのものを憐れんでくださいます。』 金秀男会員 選

### 第569回 納涼例会プログラム《CS》

日時: 2018年8月22日(水) 18:30~20:30

会場: 神谷バー3階 割烹神谷

受付: 村杉一榮

納涼例会(カジュアルな服装で)

特別会費: 4,000円・学生1,000円

プレゼント交換(1,000円位)を持参

ハッピーバースデー

1日 小松 涼 7日 金 賢聖

7日 山根風馬 9日 磯部成文

### 1. 第一例会プログラム

- ①第570回 2018年9月19日(水)《ユース》  
卓話予定「松島良樹会員」 卓題未定
- ②第571回 2018年10月17日(水)《EMC/E・YES》  
卓話予定 松島良樹 会員
- ③第572回 2018年11月21日(水)《ワイズ理解》  
会場を興望館で調整中

### 2. 報告及び協議事項

- ①7月14日(土) 第1回関東東部評議会報告 裏面に掲載  
出席者: 磯部成文会長 村杉一榮書記
- ②興望館100周年記念募金について  
東京北クラブも募金をする。募金額などは後日決める。
- ③夏まつり~8月25日(土) 東京北クラブは10時集合  
例年通り生ビール・ソフトドリンク販売
- ④9月23日(日・祝日) チャリティーラン 木場公園
- ⑤磯部成文会長報告「西日本豪雨災害支援」は、7月例会  
ニコニコの12000円をもって支援する。
- ⑥9月29日(土) 関東東部部会 受付13:30~部会14:00  
懇親会17:00 場所: 日本バプテスト浦和キリスト教会

会費: 5,000円 申し込みは9月15日までに

### 「第568回7月例会報告」

小松康広会員

日時: 2018年7月18日(水) 18:30~20:30

場所: 浅草教会 教育館

ワイズ年度の始まりに、衣笠部長の公式訪問ということで最初にご挨拶をいただいた。リーダーの時、この浅草教会には時々いらしていたとのことでした。「みつかる・つながる・よくなっていく」YMCA スローガンをワイズメンズクラブとしてどう主体的に取り組んでいくか、YMCAを支える立ち位置を再確認し特に「つなげる」ことはワイズのできることで具体的な話をしていきたい。とのことであった。ニコニコでは西日本豪雨災害についてのお話が多く、現地の苦しみを覚え私たちのできることで支援をしていきたい。卓話は千葉クラブ、青木一芳氏より「易しい図形」と題してお話を頂いた。青木氏は40年間、大学で数学の教師をされていた、今回は問題用紙も作成頂き、7つの橋が書いてある絵に対して、同じ橋を2度渡ることをしないで、全部の橋を渡れるか?という問いから一筆書きの法則を、また、点と線と面の数を使っての「オイラーの公式」についても学んだ、数学についてというか頭の中が熱くなり、脳が活性化されるような時間だった。続いて、磯部会長より年度計画について「明るく、楽しく、



7月在籍者	7月出席者	7月出席率	BF等ポイント	ニコニコボックス
会 員 11名	会 員 10名	91%	7月分	7月分
	メネット 0名	メイクアップ	切 手 0g	12,000円
	コメット 0名	名	現 金 14,600円	本年度累計
広義会員 1名	ビジター 2名	月修正出席率	本年度累計	本年度累計
合 計 12名	ゲスト 1名	%	切 手 0g	12,000円
	合 計 13名		現 金 14,600円	

朗らかに」の主題はいまの東京北クラブをそのまま表現している、再入会のメンバーが増えたこと、8月の納涼例会には5名のゲストも予定されていることなど嬉しい。できることを皆で楽しんでいきたいとお話があった。その後、諸報告があり閉会となった。

出席者：磯部・幸子、神谷、金、小松、菅谷、篠沢、辰馬、松島、村杉。

ビジター：青木一芳(千葉クラブ)衣笠輝夫 関東東部部長

清泉 YMCA：志羅山ひかり

## 「第1回 関東東部評議会報告」 磯部成文会長

日時：2018年7月14日(土) 13:30~17:00

場所：東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター



衣笠輝夫部長より“良いものを見つけよう・つなげて、よくなる”を部長主題にして、10クラブが「YMCAを支える」の基

本的立ち位置を認識して主体的に活動することで、YMCA 共々生き生きとした活動をめざすという方針が述べられた。次に地域奉仕・YMCA サービス、会員増強、国際・交流、ユースの各事業活動計画について主査から説明があり、その後10クラブの会長から活動計画が発表された。以上の発表について参加者が活発に意見交換を行った。

後半は議案書にもとづき、部の会計予算、2017-2018会計決算、会計監査報告が議論され、承認された。

出席者：会長・磯部成文 書記・村杉一榮

## 「北クラブ再入会の記」 松島良樹会員

2009年6月に東京北ワイズメンズクラブを退会し、2018年の7月に再入会しました。切っ掛けは、末期の癌にも拘らず、命を賭けて当クラブの運営に尽力された村杉前会長の心意気に感ずるものがあったからです。2009年に退会した主な理由は、当時小生は、クラブの中で年齢が上のほうでこのまま小生がクラブに留まると若い人が入会してこないと考えたからです。現実に小生が最初に当クラブに入会した1999年から2009年までの10年間に若い人の入会は、ほとんど無く小生より若い会員が次々に退会し、結果的に高齢の会員だけが残ってしまいました。それから更に9年たち退会者が増え、メネット会員を正会員に格上げしてやっと体裁を整えている現状です。今回小生の入会と同時に2名の会員が再入会し、会員が12名となりましたが、会員の平均年齢は高くクラブの存続が危ぶまれる日が近いと思われます。小生も今年78歳になり、お手伝いできる期間も限定されておりますが、会員でいる間は頑張ろうと思っております。

## \*\*\*\* 興望館便り \*\*\*\* 五十嵐 美奈 \*\*\*\*

「夏の安全」この夏、水遊びの安全と熱中症対応に追われています。一昨年さいたま市で起きた、プールでの保育園児の死亡事故を受け、厚労省より必ずフリーの監視役を立てるようとの通知がありました。また、小学生が熱中症で亡くなったのは記憶に新しい所です。そこで、今年はプール活動の見直しや、暑さ指数(WBGT)に基づく屋外活動の制限を行っています。キャンプ地、軽井沢の気も連日30度を超えています。安全と活動の豊かさを共に保障する難しさに取り組む毎日です。

## ++ 清泉 YMCA 便り ++ 中山 真希 さん ++

早稲田大学 YMCA さん担当の聖書研究に参加しました。聖書箇所は「善きサマリヤ人のたとえ」で、テーマは「日本で初めてゲイであることを告白し牧師になった平良愛香さんのお話から、人間の多様性や聖書の解釈について考える」というものでした。キリスト教で同性愛は罪とされている中、平良さんはかなり勇気がいる行動を取ったと思いました。平良さんは聖書をご自身の中でうまく解釈して生きていらっしゃいます。私は聖書の解釈は人それぞれで良いのだと思いました。ありのままの自分であるために、自分なりの解釈を大切にしたいです。

## YyYyYyYyYyYyYyYyYMCAニュース YyYyYyYyYyYyYyYyYy

1. 西日本を中心とした「平成30年7月豪雨」に対する支援活動を展開していくため、全国YMCAが協力して7月14日から募金活動を開始した。東京YMCAでは、7月22日までに各コミュニティーセンターを中心に8回の街頭募金を実施し、計214名が参加。1,000,737円が寄せられた。また賛助会企業等からもご寄付の他、募金チラシの印刷(デュプロ株式会社)や募金箱の社内設置など、様々な形で支援が寄せられている。全国YMCAでは、特に被害が大きかった広島県ならびに岡山県を中心に、支援ボランティア活動、子どもたちへのレクリエーションや心のケア、キャンプ活動への招待などを行うことを計画している。

2. 「第19回世界YMCA大会」が「ユースエンパワーメントが世界を変える」をテーマに、7月8日から14日にチェンマイ(タイ)で開催され、80を超える国と地域から1,300人以上が集った。日本からの参加者39名のうち、東京YMCAからは浅羽俊一郎国際委員長夫妻、菅谷淳総主事、職員の松本数実、田所悦子、中谷綾、押山愛紀子が参加。世界のYMCAが一致してYMCA運動を推進していくために、基調講演、様々なテーマのセッション、グループワーク、交流プログラムなどが設定された。大会5日目には広島YMCAからの参加者により西日本豪雨災害の被災状況の報告がなされ、世界中で自然災害に直面している方々のために祈りが合わせられた。今回の大会はユース世代が中心となり企画・運営が進められたが、今後4年間の方針として、引き続きユースエンパワーメントを推進していくことが全体で確認された。また選挙により世界YMCA同盟の役員と常務委員が選出された。

## 3. 今後の主な行事日程

- ・「ヒロシマ・ナガサキ原子爆弾の記録」パネル展  
8月6日~10日(東陽町センター)
- ・キッズワールドカップ in 韓国  
8月6日~10日(ソウルYMCA)
- ・夏まつり 8月25日(東陽町センター)
- ・国際協力一斉街頭募金 9月15日(新宿駅周辺)
- ・第32回インターナショナル・チャリティーラン  
9月23日(都立木場公園)

(小松康広担当主事)

YyYyYyYyYyYyYyYyYyYyYyYyYyYyYyYyYyYy YyYyYyYyYy